



# ほしぞら通信

2023年  
08月号

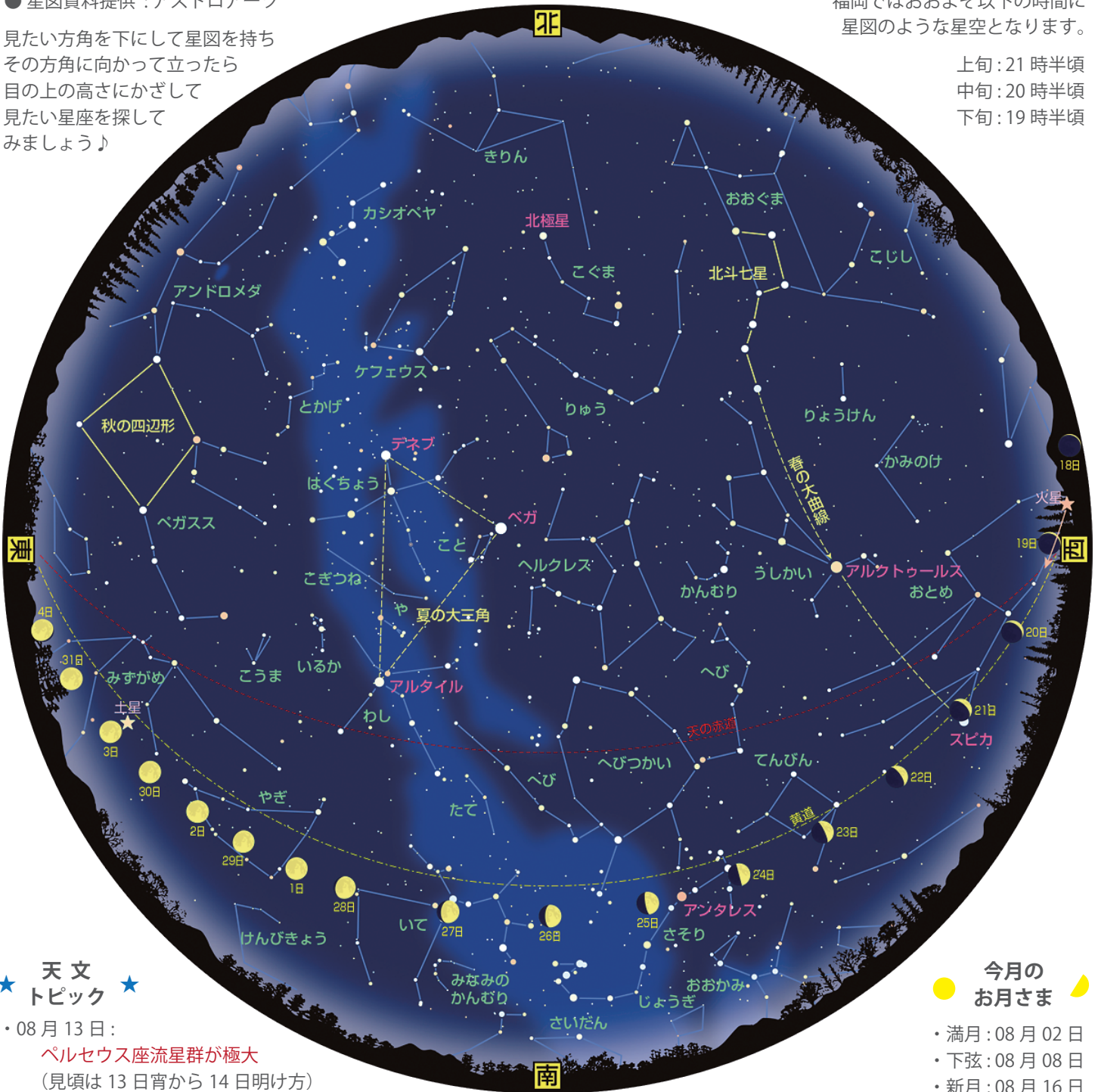


● 星図資料提供 : アストロアーツ

見たい方角を下にして星図を持ち  
その方角に向かって立ったら  
目の上の高さにかざして  
見たい星座を探して  
みましょう♪

福岡ではおおよそ以下の時間に  
星図のような星空となります。

上旬 : 21 時半頃  
中旬 : 20 時半頃  
下旬 : 19 時半頃



## ★ 天文トピック ★

- 08月13日:  
    **ペルセウス座流星群が極大**  
    (見頃は13日宵から14日明け方)
- 08月22日: 伝統的七夕
- 08月31日: 今年最も地球に近い満月

### 【08月の満月】

- 08/02 スタージョンムーン(チョウザメ月)
- 08/31 ブルムーン/スーパームーン

## ● 今月のお月さま ●

- 満月: 08月02日
- 下弦: 08月08日
- 新月: 08月16日
- 上弦: 08月24日
- 満月: 08月31日

## ★ 星の歳時記 ★

星を見る習慣ができてくると、この欄でも何度かご紹介している「夏の日暮れが遅い」ことは、特に子供たちにとって大問題であることに気がきます。

夏休みの過ごし方として天体観測を思い浮かべる方は多いと思いますが、19時半ごろに太陽が沈むと、星がしっかり見えるようになるのは21時ごろ。それまでの空はまだ明るさが残っていて、星座や北斗七星などの星の並びを十分に楽しむことも意外に難しく、観望会も短時間になりがちです。そこでやはり、この季節に活躍してほしいのが、毎日子供たちと過ごしている周りの大人の方たちです。

キャンプでの夜更かし、夏祭りの帰り道、庭先での花火のあと。それから、お盆の里帰りで過ごす田舎のひととき。夏の夜空を見上げて「星がきれい」と思える時間帯に子供たちと一緒にいる方たちに、日々少しずつ、星を話題にして貰えないでしょうか。難しい知識は必要ありません。子供たちと一緒に星の輝きの強さや色、そして星と星の並び方などを話してみても、同じ時間を共有することから始めてみてください。

天文学も、そんな夜の思い出から生まれた、ふとした疑問の答えを探すことから始まったのですから。



見るなら  
今でしょ!!

夜空を見上げたときに「流れ星(流星)」が見えたらラッキーですよ。今月はその流星を見ることが出来るチャンスです。8月は「ペルセウス座流星群」があり、8月13日(日)の夜が一番の見頃です。



「ペルセウス座」と名前がついていますが、ペルセウス座だけに流星が見えるのではなく、全ての方向で見ることが出来ます。



資料提供: アストロアーツ

多くの流星がこの星座の方向から流れているように見えることからこの名前が付いています。

日頃見ることが少ない流星ですが、なぜ特定の時期に「群」として多く見ることが出来るのでしょうか? その原因は「ほうき星(彗星)」にあります。

流れ星は砂のように大変小さな「チリ」が、地球の大気にぶつかることによって起こります。「ほうき星(彗星)」が太陽に近づくと、その熱によって彗星の表面から多くのガスやチリが放出され、「彗星の『尾』」として観察されます。このとき放出されたチリが流星の元となります。このチリは、放出した彗星と同じような軌道で太陽を回るようになります。その軌道を地球が横切ることによって、多くのチリが地球とぶつかり、「流星群」として見ることが出来るのです。

今月、この流星群の見頃の時期には月明かりも無く、流星を眺めるのに絶好の条件です。ちょっと夜更かして、流れる星に「願い」をかけてみませんか?

星乃よもやまばなし

『いて座?』

アラビア語では、いて座を形作る星々に射手の膝(ルクバト)、射手のアキレス腱(アルカブ・プリオル)、矢の先端(アルナスル)など各部分の名前が付けられていて、もともとは戦争と狩猟の神「パ・ビル・サグ」が起源とされているようです。

その姿は、半人半馬で描かれている事でも有名ですが、半人半サソリやサソリの姿で翼を生やした姿で描かれていた事もあったようです。

また、ところ変われば見え方も違うようで英語圏ではティーポットやミルクディッパーとも呼ばれていて、星のつながり方で全然違うものに見えてくるようですね。

また、中国では北の北斗七星に対して南の南斗六星とも呼ばれ、北斗七星には死を司る仙人、南斗六星には生を司る仙人がいてこの二人が相談して人間の寿命を決めているとか…

夏の夜空に輝く「いて座」。あなたにはどんな形に見えますか?

ヒトリゴト

人は死ぬと星になる!?

小さい頃に誰から聞いたか、それとも絵本に描いてあったのか忘れてしまったけど、先日大好きだった叔母のお葬式でふと思い出しました。

人間だけでなく形のあるもの全て(動物や植物や車も)小さな粒(素粒子)の集まりからできていて、死んだり壊れたりするとまた小さな粒(素粒子)になるんだって。

星にも寿命があって、いつかは爆発したりして小さな粒(素粒子)になるけれど、それが何千何億年かかって新しい星が生まれる材料になる。

だから人も星になるというのはあながち間違っていないのかもしれないですね。

会えないのはさみしいけど、お空の上から見守って下さい。

(^-^)> asako☆hino

定例観望会開催のお知らせ

いとしま天文台の「天文台号」が目印ですよ~♪

開催予定日 <<要予約>>  
08月12日(土)・09月09日(土)

開催場所  
志摩中央公園グラウンド(糸島市志摩初)

※ 雨・天候不良時は中止となります。  
当日の天候によって開催状況が変わる可能性があるため、当日17時までにホームページ・Instagram・Facebookでお知らせします。確認いただき、ご来場をお願いします。

お問い合わせ・お申し込み

● 平日(08:30~17:15) ● ● 観望会当日(14:00~21:00) ●

糸島市生涯学習課 星空ナビゲーター携帯  
092-332-2092 080-8050-8609  
↑ご予約はこちらへ ↑当日問い合わせはこちらへ↑

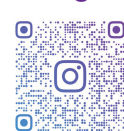
こちらで情報を発信しております。何かお問い合わせがありましたら、メッセージ等でお問い合わせください。

ホームページ



いとしま天文台 検索

Instagram



ITOSHIMA.TENMONDAI

Facebook



いとしま天文台

★編集後記★ 夏休みに星を眺めながら星空についてもっと知りたくなってきた~! という方も多いのではないのでしょうか。本を読むのもよし、今は動画もたくさんありますので時間がある時に少しづつ見てみるとよいかと思います。私のオススメは、いとしま天文台がお世話になっている天文ショップの社員の方がされているYouTube『ホシゾラノサカイ』 個性的なキャラのサカイさんがわかりやすい説明と楽しいイラストで星空の案内をされています。季節にあわせた解説を毎週更新されてますのでオススメですよ d(^\_^o)

